

第2回 リコーダー指導法研修会 報告

東京リコーダー教育研究会

2023年8月24日(木)14時～鈴木楽器販売東京支店内コミュニケーションルームにて「リコーダー指導者研修会」を開催しました。講師には千田鉄男先生(東京女子体育短期大学非常勤講師・東大和市立第二小学校時間講師)をお迎えし、対面での講習会となり、25名の参加がありました。



前半は、リコーダー導入期における基本的な指導法を紹介していただきました。まず、リコーダーとはどんな楽器でしょうか？

- ① 吹奏楽器 ② 8種類あるファミリーの楽器 ③ ルネサンス・バロック・モダンなどピッチが異なる
- ④ 大作曲家の作品が残っている ⑤ 小さくて軽い

などが挙げられます。

リコーダーを演奏するにあたって大切なポイントは、構え方・息づかい・タンギング・指遣いの4つです。構え方は、真横から手で押さえる・指の腹で穴をふさぐこと。低いドまでをおさえて、うまく音が出せなくても毎回やることで慣れさせていきます。右手の小指の位置も一人ひとり見てあげて、足部管を調整したら動かさないように声をかけます。

参加者からの事前質問についても、お答えいただきました。

【参加者からの事前質問と千田先生の回答(抜粋)】

Q.小学生の音楽会などで合奏を仕上げていく際には、やはり曲の始めからやっていった方が良いのか、必ずしも最初からでなくても良いのでしょうか？

A.曲の全体像をわかって見通しをもててから部分ごとに練習するのは良いと思う。

Q.タンギングの指導法。同じ音をタンギングする時の児童は意識が高いのですが違う音のタンギングは、結構あいまいな感じがあります。

A.タンギングはどの学年でも毎年新鮮な気持ちで指導していく。一回教えたからと言ってできると思ったら大間違い。リコーダーを口から離している時はタンギングできているが、口に触れるとできなくなってしまう。タンギングしながら口に触れたり離したりと、行ったり来たりの練習が大切。



- ① トゥ
- ② 無声音(トゥ)
- ③ リコーダーで、一音だけでタンギング
- ④ 音を変えてタンギング

後半はリコーダーと低学年で既習した鍵盤ハーモニカを活用した演奏を行い、指導のポイントを教えてくださいました。カノン「のんびりひるね」で3グループに分かれての輪唱（輪奏）から始まり、「ロックンローラー」では速いテンポにのりながらかけ合いと重なりのしくみを楽しみました。「竹田の子守唄」では有名な主旋律を飾るもうひとつの旋律を、主旋律の音色に寄り添う形で演奏し民謡の雰囲気味わうことができました。

「島唄」では Solo・少人数・全員と3つの演奏部分で構成された曲で、生徒・児童も色々な子がいる中でそれぞれが活躍でき「演奏できた」という充実感を味わうことができる、そんな曲でした。

長い曲は楽譜の譜めくりが一人では難しく、お隣の人と協力して譜面をつなげてちょっぴり交流。少し距離が近くなり休憩時間や終了後にお話や情報交換されている方もいました。そして何より千田先生のわかりやすく、かつユーモア溢れるご指導に皆さんから笑顔がこぼれていました。本当に充実した、あっという間の2時間でした。



【参加した方の感想】

- ・リコーダー指導のコツがわかりました！
- ・リコーダーや鍵盤ハーモニカの楽しさやどうしたらより綺麗に吹けるかのポイントがわかり、良かったです。参加の皆様が流石に美しく吹いていらして感動しました。
- ・実際に体験することで曲の良さがわかり、授業で使う時の実感がわきました。
- ・千田先生のお話が「小学生あるある話」ばかりで楽しかった。アンサンブルの楽しさを改めて教えていただき、2学期から学年末の学習発表会に向けてのモチベーションがアップした。
- ・講習を通して、皆さんと合奏ができたことが嬉しかったです。
- ・久々にリコーダーを吹きました。皆で合わせることはなんと素敵なことでしょう！楽しい2時間でした。ありがとうございました。

「夏休み明けの指導や行事に役立つ」といった旨の感想が多く、少しでも指導者の先生方のお役にたてたのであれば幸いです。またコロナ禍では出来なかった集合形態での講習会を開催することができ、皆さんで「リアル合奏」できたのも大きな喜びでした。講師の千田先生に改めて感謝すると共に、この研修会を開催するにあたり研修会場や楽器の貸し出しなど、たくさんのサポートをしていただきました鈴木楽器販売株式会社東京支店の皆様に御礼申し上げます。ありがとうございました。

(TRS 副会長 漆畑・リコーダー活用担当 長谷川)